日本航空 OB 乗員
有志の会ニュース

2012. 07. 01

No.12-047

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

再上場の申請の一方で、

止まらない人材流出

日本航空は 6 月 20 日、東京証券取引所に株式の上場を正式に申請しました。既に3月上旬、上場の予備申請をしており、順調に審査が進めば8月中旬に承認、9月19日にも東証1部への再上場が実現する見通しと報道されています。

再上場申請を伝える新聞記事

社員の流出による職場崩壊の危機よりも、体裁を取り繕い再上場に向けて中期計画の維持にこだわる経営に対し、

【訓練生】若い社員から見たら、会社はお

かしなことをしているように見える。上

場を目標にしているなら訓練問題を「ずばっと」解決して社員の士気を上げて、若い社員がついていける経営をしてもらいたい。

（乗員速報　58-231 より）

《組合》LCC に対してJAL が乗員を供給しているが、片やANA からは乗員の流出はない。ANAの賃金水準はJAL より上で、ANA では乗員としてのライフプランも示されている。一方でJALは新人事賃金制度が強行され、自分自身のライフプランも見通すことができない。労働条件はLCCよりJAL の方が上であるにも関わらず、JALからLCC に乗員が流れている。何故だと思うか？
【進本部長】機長養成など、養成のところに問題があるということは理由の一つであろう。
《組合》社長はフィロソフィ教育の中で1 年待ってくれと言っている。私達は何を待てばいいのか？そこがはっきり言って分からない。乗員養成にしろ、賃金にしろ、職場の声を聞いて職場が分かるような具体的なものに改めてもらわないと、今の流出は絶対に止まらない。

乗員速報　58-231

皆様、2012 年度も引き続き整理解雇撤回を支援する為のカンパにご協力お願いします